

詩を楽しもう

春の河

山村暮鳥

たつぶりと

春は

小さな川々まで

あふれている

あふれている

- ③から、一ートに書きましよう。
- ④気に入った詩から、どんな景色が思い浮かびましょう。
- ⑤自分が想像した景色を聞く人に思い浮かべてもうえるよう記号を入れて音読しましょう。

びますか。言葉で表しましよう。(千行以上)

小景異情 室生犀星

あんずよ

花着け

地ぞ早やに輝やけ

あんずよ花着け

あんずよ燃えよ

線を引こう 記号

- || : 強く
- :-: 弱く
- く: 間をあける
- ↓: はやく
- {: ゆっくり

- ①二つの詩を一ートに写しましょう。
- ②景色を思い浮かべながら十回ずつ音読しましょう。

写しましょう。